

Title	建設業協同組合の特徴と限界 - 匠の会をケースとして -
Sub Title	
Author	青洋一(Ao, Youichi) 小林規威
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1982
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001982-0180

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 青 洋 一

主査 小 林 規 威

副査 小 野 桂之介

所属ゼミナール 古 川 公 成 研

古 川 公 成

建設業協同組合の特長と限界 一匠の会をケースとして一

建設業はとかく問題の多い業種である。倒産率が高く、社会的信用が低い等の問題をかかえたこの業界は同時にG N Pの20%を占める巨大な市場をもった業界でもある。この巨大な市場の供給者である中小零細な建設業者に対する施策は重要であり、数々のものがおこなわれてきたが、近年協同組合の急速な増加とともに建設業協同組合政策が重要視されるようになった。しかしながら、協同組合は相互扶助と経営の合理化という本来の目的を達し得ていないのが現状のようである。

このような観点から本稿では建設業協同組合の特長と限界を探ってみたい。

建設業協同組合の重要さは認識されたものの、現状の組合活動についての詳細な調査はおこなわれたことはなく不明な点が多い。そこで、私は協同組合としては甚だ特異ではあるが、建設業事業協同組合匠の会をとりあげて調査することにした。組合の活動と会員社についての詳しい資料が公開されるためである。

本稿では、まず建設業界の特色とそれが影響を与える経営の特色について記述し、住宅建設業がかかえる問題の本質を探る。次に匠の会がこれらの問題をカバーし得るかどうかを分析し、最後に匠の会タイプの協同組合の特長と限界を示したい。